

「たかちほハートフル作品展」を11月22日(金)～24日(日)の3日間、高千穂町武道館で開催しました。

この作品展は、町内の園児や児童生徒が制作した作品や、町民の皆さんが生涯学習活動や創作活動において制作した作品を一堂に展示する作品展で、今回は42の団体・個人から約1800点の作品の出展がありました。

また、高千穂町出身で県立五ヶ瀬中等教育学校教諭の藤高祐太郎氏(雅号：霧島)の「ふじたか むとう藤高霧島書作展」と高鍋町在住で高千穂高校教諭や高鍋町美術館の館長を務められた「いしい ひでさと石井秀隣絵画展」を同時開催しました。

来場者からは「親子で見に来られて楽しい時間を過ごせました。」「作品を見ていると、その人の心に触れているようで心がほっこりするものばかりでした。自分も心を表せるステキな作品を作りたいと思いました。」「いくつになっても好きなことをして達成感を味わい、それが生きがいとなり元気でいられることと思います。感動しかありません」などの声をいただきました。

今回は出展された作品の一部をご紹介します。



出展団体

町内保育園・幼稚園、小学校、中学校、旭ヶ丘学童クラブ、延岡しろやま支援学校高千穂校、刺し子葩、キルトクラブ花みずき、さき織り会、小原流千穂会、高千穂俳句会、ふでの会、ふれあいサロンあけぼの、だるまくらぶ、高千穂町さんさんクラブ連合会、西臼杵地域障害者自立支援協議会、中央公民館講座、がまだせ若竹会議、高千穂町教育支援センター、教育委員会(高千穂町文化財絵画コンクール・人権作品展)

出展個人

武田奈津子(書)、甲斐愛光(神楽面)、佐藤淳子・竹石シズ子・渡邊正代(手芸)、甲斐立子(スクラッチアート)、戸高秀喜・飯干太治(絵画)、田上弘文(写真)

出展いただきました皆さま、ご協力ありがとうございました。

地域おこし協力隊の そうなっちゃ! 高千穂

全国募集の広報イベントに参加してきました

ツーリズム高千穂郷山下紘生です。主なミッションは、農泊、特産物を生かした商品開発に関わりながら、高千穂、椎葉山地域の魅力をPR広告していくことを担当します。

地域おこし協力隊として着任してから半年ほどたち、高千穂の暮らしにも慣れ、お気に入りの場所が増えてきました。高千穂での暮らしを家族みんな満喫しています。

今回は、地域おこし協力隊としてツーリズム高千穂郷で行ってきた農泊、特産品事業、SNSを使ったPR広告活動を紹介します。

農泊とは、日本の伝統的な生活体験や地元の人々との交流を楽しむことができる農山漁村滞在型旅行のことです。訪日外国人旅行者が増え、たくさんの方に農泊を体験していただいています。

農泊家庭の皆さまの笑顔、優しさ、ぬくもりのおかげで農家民泊に来た旅行者の方々が笑顔で帰られたことが心に残っています。



農泊体験でかっぱ鳥体験を行っている様子

特産品事業においては、昨年度に引き続き、本年度も新商品の開発、販売を行っています。柚子を使ったスイーツとポン酢、ハト麦ほうじ茶、椎茸パウダーを使用したスティックパイなど世界農業遺産認定地域の食材をぜいたくに使用した商品となっています。

商品はツーリズム高千穂郷オンラインショップおよび一部の商品では宮崎空港や道の駅にて販売中ですので、家族や友人へのお土産、自分へのご褒美としておすすめです。ぜひご賞味ください。



新特産品ラインナップ

PR広告活動ではツーリズム高千穂郷の公式Instagram、Facebook、TikTokを開始しました。

高千穂のおすすめスポット紹介や特産品、農泊の様子を写真や動画で伝えています。農泊のPR動画では宮崎県公式YouTubeチャンネルを担当するなど、主に宮崎県内で活躍するインフルエンサー「南国みー

とぼーる ぞのさん」に作成していただきました。農泊体験を分かりやすく、面白く紹介しているのでぜひご覧ください。まだまだ始まったばかりのアカウントですのでいいねやフォローの応援よろしく願いします。

高千穂の魅力を伝えきれていないと思いますのでおすすめスポットやグルメなど紹介していただけると幸いです。これからも高千穂の魅力を伝えられるよう努めて参りますので応援よろしく願いします。



【Instagramはこちら】



山下 紘生
Yamashita Koki

宮崎県日南市出身。
令和6年4月に着任。
(一社)ツーリズム高千穂郷所属。
主なミッションは農泊、特産品開発に関わりながら、高千穂郷・椎葉山地域、世界農業遺産の魅力をPR。